

◆Windows XP SP2 から Windows XP SP1a へのダウングレード手順書◆

■対象機種

・FMV-X8200

■必要なもの

●リカバリディスク

●ドライバズディスク

●Windows XP Service Pack 1a

「Windows XP Service Pack 1a」(以降、Windows XP SP1a と記載します)をお持ちでない場合は、マイクロソフト社の次のサイトからダウンロードして、ディスクなどに保存してください。

<http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/pro/downloads/servicepacks/sp1/>

●OS 修正プログラム

次の OS 修正プログラムを、あらかじめマイクロソフト社の次のサイトからダウンロードして、ディスクなどに保存してください。

- ・ マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 831167 「Web サイトにログオンできない、インターネット トランザクションを完了できない、または HTTP 500 (内部サーバー エラー) ページが表示される」

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;831167>

- ・ マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 331958 「スタンバイまたは休止状態に入った場合やメモリ ダンプの書き込みでハード ディスク ドライブが破壊される可能性がある」

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;331958>

- ・ マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 820291 「Windows XP の新しい [プログラムのアクセスと既定の設定] スタート メニュー アイコンとヘルプについて」

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;820291>

- ・ マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 822603 「Windows XP SP1 USB 1.1 および 2.0 更新プログラムについて」

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;822603>

- ・ マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 826942 「Windows XP のワイヤレス機能に関する更新のロールアップ パッケージ」

<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;826942>

●「RecordNow」CD-ROM (カスタムメイドで内蔵 DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ、またはスーパーマルチドライブが搭載されている場合)

■注意事項

- ・ Windows XP SP1a へのダウングレードは、リカバリ操作を伴います。リカバリを実行するドライブのデータは削除されますので、ハードディスク内の必要なデータはあらかじめバックアップを行ってください。
- ・ ソフトウェアをアンインストールする場合は、作業中に次のウィンドウが表示される場合があります。その場合は「はい」をクリックしてください。
 タイトル: (ソフトウェア名)
 メッセージ: (ソフトウェア名) を削除すると、このプログラムが正しく動作しない可能性があります。続行しますか?
- ・ Windows XP Service Pack 2 (以降、Windows XP SP2 と記載します) をアンインストールした後、Windows XP SP1a をインストールするまでの間、USB2.0 対応機器は速度が落ちた状態で動作します。
- ・ 作業中にイベントログに警告やエラーが記録されることがありますが、すべての作業が正常に完了すると、警告やエラーは発生しないようになります。
- ・ 作業手順によっては再起動メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って再起動してください。
- ・ 作業中に「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示された場合は、「キャンセル」をクリックしてください。
- ・ 作業中に「Windows Messenger」ウィンドウが表示された場合は、ウィンドウの右上にある閉じるボタンをクリックしてください。
- ・ 周辺機器を取り付けている場合は、ダウングレード作業中はすべて取り外しておいてください。
- ・ LAN ケーブルは「Windows Update」を行うとき以外は、接続しないでください。
- ・ ワイヤレス LAN 搭載モデルをお使いの場合は、作業中に次のウィンドウが表示される場合があります。その場合は「今後このメッセージを表示しない」にチェックを付けて、「いいえ」をクリックしてください。
 タイトル: Microsoft ワイヤレス構成マネージャを無効にする
 メッセージ: インストール中に、Atheros ワイヤレス ネットワークカードを制御するのに Microsoft ワイヤレス構成マネージャを使用しないと選択していますが、現在、Microsoft ワイヤレス構成マネージャがこのデバイスに対して有効になっています。無効にしますか?
- ・ Windows XP SP1a へのダウングレードを行うときは、必ず AC アダプタを接続してください。

■ダウングレード手順

Windows XP SP1a へのダウングレードは、必ず次の手順に従って行ってください。

- (1) ご購入時の状態に戻す
- (2) ソフトウェアをアンインストールする
- (3) 「Windows XP Service Pack 2」をアンインストールする
- (4) 「Windows XP Service Pack 1a」をインストールする
- (5) OS 修正プログラムをインストールする
- (6) 「Windows Update」を実行する
- (7) ウィルス対策ソフトをインストールする (推奨)
- (8) ソフトウェアをインストールする
- (9) 「デバイスマネージャ」でドライバを更新する
- (10) ポインティングデバイスの設定を行う
- (11) ワイヤレス LAN の設定を行う (ワイヤレス LAN 搭載モデルの場合)

□ご購入時の状態に戻す

添付の『取扱説明書』をご覧ください、リカバリを実行してください。

リカバリでは、次の操作を行います。

- ・ BIOS の設定をご購入時の状態に戻す
- ・ リカバリを実行する
- ・ Windows XP セットアップ

《POINT》

Windows XP のセットアップでは、最終設定を正しく行うために「必ず実行してください」の実行まで完了してください。

□ソフトウェアをアンインストールする

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「プログラムの追加と削除」をクリックし、次の順番でソフトウェアをアンインストールします。
 - (1) Sonic RecordNow!
(「プログラムの追加と削除」ウィンドウに表示される場合)
 - (2) Atheros Install Program for Wireless Network Adapter Products
(「プログラムの追加と削除」ウィンドウに表示される場合)

《POINT》

「ドライバおよびユーティリティの削除」を選択してください。

- (3) FastTrak RAID controller utility
(IDE-RAID モデルをお使いの場合)
- (4) UpdateAdvisor(本体装置) V1.20 L20

《POINT》

アンインストール中に「今までに適用した履歴の情報を削除してよろしいですか?」というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

- (5) FM Advisor V3.30 L10
- (6) Viewpoint Media Player (Remove Only)
- (7) IndicatorUtility
- (8) Adobe Reader 7.0 – Japanese
- (9) FMV 診断
- (10) ALPS Touch Pad Driver
- (11) Windows XP ホットフィックス - KB885250
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (12) Windows XP ホットフィックス - KB890047
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (13) Windows XP ホットフィックス - KB893056
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (14) Windows XP ホットフィックス - KB867282
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (15) Windows XP ホットフィックス - KB891781
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (16) Windows XP ホットフィックス - KB890175
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)

- (17) Windows XP ホットフィックス - KB873339
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (18) Windows XP ホットフィックス - KB888239
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (19) Windows XP ホットフィックス - KB888302
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (20) Windows XP ホットフィックス - KB888113
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (21) Windows XP ホットフィックス - KB885836
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (22) Windows XP ホットフィックス - KB885835
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (23) Windows XP ホットフィックス - KB886185
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (24) Windows XP ホットフィックス - KB887797
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (25) Windows XP ホットフィックス - KB887472
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (26) Windows XP ホットフィックス - KB885855
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (27) Windows XP ホットフィックス - KB884018
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)
- (28) Microsoft .NET Framework 1.1 Hotfix (KB886903)
- (29) Windows Media Player 10
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)

《POINT》

「Windows Media Player をこのコンピュータで以前使用していたバージョンに戻します。続行しますか?」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックしてください。

- (30) Windows Media Format Runtime
(「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合)

《POINT》

「ロールバックを続行する」にチェックをし、「OK」をクリックしてください。

- (31) Microsoft .NET Framework 1.1 Japanese Language Pack
- (32) Microsoft .NET Framework 1.1

☐ 「Windows XP Service Pack 2」をアンインストールする

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「プログラムの追加と削除」をクリックします。
「プログラムの追加と削除」ウィンドウが表示されます。
3. 「Windows XP Service Pack 2」を選択し、「削除」をクリックします。
「Windows XP Service Pack 2 削除ウィザード」ウィンドウが表示されます。
4. 「次へ」をクリックします。

《POINT》

「Service Pack 2 を削除すると、これらのデバイスが正しく動作しなくなる可能性があります。続行しますか?」というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

5. 「完了」をクリックします。
本パソコンが再起動します。

☐ 「Windows XP Service Pack 1a」をインストールする

1. あらかじめ用意した、Windows XP SP1a を保存したディスクをセットします。
2. インストール実行ファイルをダブルクリックします。
「Windows XP Service Pack 1 セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。
この後は、メッセージに従って操作します。インストール完了後は必ず再起動してください。

☐ OS 修正プログラムをインストールする

1. あらかじめ用意した、OS 修正プログラムを保存したディスクをセットします。
2. 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」の順にクリックします。
3. ディスクをセットしたドライブをダブルクリックします。
4. OS 修正プログラムのアイコンをダブルクリックし、次の順番でインストールします。
インストールはメッセージに従って行ってください。

《POINT》

各 OS 修正プログラムのインストール後は、必ず再起動してください。

- (1) マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 831167 「Web サイトにログオンできない、インターネットトランザクションを完了できない、または HTTP 500 (内部サーバーエラー) ページが表示される」
- (2) マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 331958 「スタンバイまたは休止状態に入った場合やメモリ ダンプの書き込みでハードディスクドライブが破壊される可能性がある」
- (3) マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 820291 「Windows XP の新しい[プログラムのアクセスと既定の設定] スタートメニューアイコンとヘルプについて」
- (4) マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 822603 「Windows XP SP1 USB 1.1 および 2.0 更新プログラムについて」
- (5) マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 826942 「Windows XP のワイヤレス機能に関する更新のロールアップパッケージ」

□ 「Windows Update」を実行する

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
「ネットワークとインターネット接続」ウィンドウが表示されます。
3. 「ネットワーク接続」をクリックします。
「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。
4. 「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」をクリックします。
「ローカル エリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

《POINT》

「ローカル エリア接続」は「ローカル エリア接続 2」のように数字が付く場合があります。

5. 「詳細設定」タブをクリックします。
6. 「インターネットからのこの～」にチェックします。
7. 「OK」をクリックします。
8. ネットワーク管理者に確認し、LAN などの設定を行います。
9. LAN コネクタに LAN ケーブルを接続します。
10. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。
「セキュリティ警告」ウィンドウが表示されます。
11. 「はい」をクリックします。
「最新の Windows Update ソフトウェアを入手してください。」と表示されます。
12. 「今すぐインストール」をクリックします。
13. 「カスタム インストール」をクリックします。
「インターネットへ情報を送信するときに～」というメッセージが表示されます。
14. 「はい」をクリックします。
15. 「Windows Update の最新バージョンを使用するには～」というメッセージが表示されたら、「今すぐダウンロードしてインストールする」をクリックします。
「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウが表示されます。
16. 「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウで「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら、「今すぐ再起動」をクリックします。
本パソコンが再起動します。
17. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。
「Windows Update」が起動します。
18. 「カスタム インストール」をクリックします。

《POINT》

「Windows XP Service Pack 2 (セキュリティ強化機能搭載)」が表示された場合は、「他の更新プログラムを確認する」をクリックしてください。

19. 「優先度の高い更新プログラムの確認」で更新プログラムが 1 つ以上あることを確認し、「更新プログラムのインストール」をクリックします。
20. 「インストール」をクリックします。
「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウが表示されます。

《POINT》

「次の使用許諾契約書 (EULA) をお読みください (1/1)。」が表示された場合は、「同意します」をクリックしてください。

21. 「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウで「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら、「今すぐ再起動」をクリックします。
本パソコンが再起動します。
22. 「優先度の高い更新プログラムの確認」で利用可能な更新プログラムがなくなるまで手順 17～21 を繰り返してインストールします。
23. 「ソフトウェア用の更新プログラムを追加で選択」をクリックします。
24. 「単独インストール: DirectX 9.0c エンド ユーザー ランタイム」を選択し「更新プログラムのインストール」をクリックします。
25. 「インストール」をクリックします。
「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウが表示されます。
26. 「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウで「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら「今すぐ再起動」をクリックします。
本パソコンが再起動します。
27. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。
「Windows Update」が起動します。
28. 「カスタム インストール」をクリックします。

《POINT》

「Windows XP Service Pack 2 (セキュリティ強化機能搭載)」が表示された場合は、「他の更新プログラムを確認する」をクリックします。

29. 「ソフトウェア用の更新プログラムを追加で選択」をクリックします。
30. 「追加で選択できるソフトウェア用の更新プログラム」で次のソフトウェアにチェックをし、「更新プログラムのインストール」をクリックします。
 - ・ 「Windows Media Player 10」
 - ・ 「Microsoft .NET Framework Version 1.1 日本語版」
31. 「インストール」をクリックします。
「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウが表示されます。
32. 「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウで「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら「閉じる」をクリックします。
33. 「インストールの結果」が表示されたら「残りの更新プログラムを今すぐ確認し、インストールする」をクリックします。
34. 「優先度の高い更新プログラムの確認」で更新プログラムが 1 つ以上あることを確認し、「更新プログラムのインストール」をクリックします。
35. 「インストール」をクリックします。
「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウが表示されます。
36. 「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウで「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら、「今すぐ再起動」をクリックします。
本パソコンが再起動します。
37. 「優先度の高い更新プログラムの確認」で利用可能な更新プログラムがなくなるまで、手順 17～21 と同じ操作を繰り返してインストールします。

《POINT》

この後、ウイルス対策ソフトをインストールする場合は、次の「☐ウイルス対策ソフトをインストールする (推奨)」が終わってから、LAN ケーブルを抜いてください。

□ウイルス対策ソフトをインストールする (推奨)

Windows Update 実行後は、ウイルス対策ソフトをインストールし、ウイルス対策のデータファイルを最新にしてウイルスチェックを実行することによって、システムの安全性を確認することをお勧めします。

1. ウイルス対策ソフトをインストールします。

ウイルス対策ソフト「AntiVirus」については、『FMV マニュアル』の「トラブルシューティング」－「トラブルに備えて」－「コンピュータウイルス対策」をご覧ください。

《POINT》

『FMV マニュアル』は、富士通パソコン情報サイト「FMWORLD.NET」(<http://www.fmworld.net/biz/>) 内のマニュアルです。機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティング、およびカスタムメイドなどについて説明しています。『FMV マニュアル』は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMV マニュアル」から参照し、お使いの機種を選択してください。

2. ウイルス対策のデータファイルを最新にし、ウイルスチェックを実行します。

「AntiVirus」の使用方法については、ヘルプをご覧ください。

3. LAN コネクタから LAN ケーブルを抜きます。

□ソフトウェアをインストールする

1. 「ドライバーズディスク」をセットします。

「ドライバーズディスク検索」ツールが自動的に起動します。

2. 「ドライバーズディスク検索」ツールからインストールするソフトウェアを検索し、次の順番でインストールします。

《POINT》

必ずインストールするソフトウェアのフォルダを開き、「readme.txt」または「install.txt」に従ってインストールしてください。

《POINT》

各ソフトウェアのインストール後は、必ず再起動してください。

- (1) Intel(R) Chipset Software Installation Utility
- (2) Intel(R) 852/855GM Display Driver
- (3) Realtek AC'97 Audio Driver
- (4) Alps Pointing-device Driver
- (5) 富士通 3 モードフロッピーディスクドライバ (IDE-RAID モデルをお使いの場合は除く)
- (6) FMV 診断
- (7) Adobe Reader
- (8) IndicatorUtility
- (9) Viewpoint Media Player
- (10) FM Advisor/UpdateAdvisor(本体装置)
- (11) O2Micro SmartCardBus Reader Driver
(カスタムメイドでスマートカードリーダー／ライターを選択している場合)
- (12) Atheros AR5001X+/AR5006X Wireless Network Adapter LAN Driver
(カスタムメイドでワイヤレス LAN を選択している場合)
- (13) Promise FastTrak100 TX2 Utility (IDE-RAID モデルをお使いの場合)

3. カスタムメイドで内蔵 DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ、またはスーパーマルチドライブが搭載されている場合、『FMV マニュアル』－「ソフトウェア」をご覧ください。次のソフトウェアをインストールします。

- ・ Sonic RecordNow!

□「デバイス マネージャ」でドライバを更新する

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
2. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
3. 「」マークが付いているデバイスがある場合、そのデバイス名を右クリックし「削除」をクリックします。
4. 「デバイスの削除の確認」ウィンドウで「OK」をクリックします。
5. 「」マークが付いているデバイスがなくなるまで手順 3～4 を繰り返し行ってください。
6. 開いているウィンドウをすべて閉じ、本パソコンを再起動します。

□ポインティングデバイスの設定を行う

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。
「プリンタとその他のハードウェア」ウィンドウが表示されます。
3. 「マウス」をクリックします。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
4. 「USB マウス接続の動作」タブをクリックします。
5. 「自動的にタッチパッドを無効にする」にチェックし、「OK」をクリックします。

□ワイヤレス LAN の設定を行う (ワイヤレス LAN 搭載モデルの場合)

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
「ネットワークとインターネット接続」ウィンドウが表示されます。
3. 「ネットワーク接続」をクリックします。
「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。
4. 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして「プロパティ」をクリックします。
「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

《POINT》

「ワイヤレス ネットワーク接続」は「ワイヤレス ネットワーク接続 2」のように数字が付く場合があります。

5. 「ワイヤレス ネットワーク」タブをクリックします。
6. 「Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する」にチェックがないことを確認します。

《POINT》

チェックが付いている場合は、チェックを外します。

7. 「OK」をクリックします。

以上で作業は終了です。

なお、引き続き設定などを行う場合は、次の点に留意してください。

- ・ 「インターネット接続ファイアウォール」が有効になっていますので、お使いのネットワーク環境に合わせて設定を変更してください。
- ・ カスタムメイドオプションを選択している場合は、『FMV マニュアル』内の「カスタムメイドオプション」にあるマニュアルをご覧ください、ソフトウェアのインストールなどの必要な設定を行ってください。
- ・ ハードウェアやソフトウェアを追加した場合は、インストール後に「Windows Update」や「Office のアップデート」を再度実行して、セキュリティ環境を最新の状態に更新することをお勧めします。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各製品は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright(C) FUJITSU LIMITED 2005